

科目ナンバー	RMGT3424S
科目名	法医学
担当教員	奥田 貴久
配当年次	3年
学期	2025年度前学期
曜日・時限	**
教室	**
Canvas LMS コースID・コース名称	
単位区分	
授業形態	講義
単位数	2単位
実務経験のある教員による授業科目	
科目大分類	専門
科目中分類	専門展開カテゴリ
科目小分類	専門・法学

科目の位置づけ（能力開発）

DPコード	[DP1-D]市民的素養・市民的教養/[DP4-I]理解力・分析力	
	CRコード	割合
	E1（学識と専門技能）	60%
	I1（理解・分析と読解）	30%
	I2（量的分析）	5%
	I3（情報分析）	5%

教員の実務経験	法医学解剖100件/年、臨床医としての20年以上の診療経験、メリーランド州での解剖実務経験、動物を用いた研究10年以上。国内外の法医学解剖はもちろんのこと、アルコール医学やDNAの基礎研究も行っています。臨床医としての病院勤務経験や専門医資格も有しますので、学生諸君が社会に出てから法学の専門家として必要となる医学的事柄をわかりやすく指導します。
教員実務経験の関連授業回	第1回～第13回
成績ターゲット区分	3発展期～4定着期

授業の趣旨

副題	危機管理学部生のための法医学
授業の概要と目的	<p>■概要 法医学は、法学の分野に医学の知識と原則を適用し、問題解決の一助となることで社会的使命と責任を果たすことを目的としています。特に死因究明は法医学の主要業務であり、死因を決定するために法医学解剖を通じたエビデンスの収集を行います。また、薬毒物やアルコール、生命倫理、医療安全、DNA鑑定なども法医学に関連した領域です。法に関連する医学的諸問題を解決するための基本的な事柄を学生諸君に医学的知識がないことを前提にわかりやすく解説します。</p> <p>■目的 法医学知識の提供とその理解の促進を主要な目的とします。</p>
授業のポイント	<p>法医学は、異状死の死因と死因の種類、死亡推定時刻、身元を明らかにする学問です。法医学は自然科学を基礎とする医学に属し、社会における様々な事件事故に役立っています。</p> <p>授業形態は（講義・実技・実習・演習）形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき、効果的な授業方法として、または各授業の補完・代替手段として、一部オンライン授業を取り入れる場合があります。</p>
キーワード	解剖、検視、検案、異状死、自然死、事故、自殺、他殺

総合到達目標	<p>GIO</p> <p>法医学とは、医学的説明助言を必要とする法律上の案件、事項について、科学的で公正な医学的判断を下すことによって、個人の基本的な人権の擁護、社会の安全、福祉の維持に寄与することを目的とする医学であり、具体的には予期せぬ死について取り扱っていることを理解する。危機管理を学ぶ上で必要な医学的知識、技能を習得する。</p> <p>SBOs</p> <p>①法医学とは何か、死因、死因の種類について説明できる。 ②死の判定、心臓死、脳死、臓器移植法について説明できる。 ③種々の内因死、外因死について成因や受傷機転を理解し、説明できる。 ④交通事故関連法規や交通事故の現状、交通外傷について説明できる。 ⑤わが国の死因究明について、実務面と法的側面から説明できる。 ⑥違法薬物に関連する法律、薬物依存について説明できる。 ⑦硫化水素、フグ毒、ヒ素など稀な毒物による死について説明できる。 ⑧飲酒がもたらす問題について、依存や健康被害の点から説明できる。</p>
成績評価方法	<p>■以下の方法で総合的に評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業毎に確認テストを実施する。 ・筆記試験を実施する。 <p>■(適用ルーブリック-割合)E1 (25%)、I1 (25%)、I2 (25%)、I3 (25%)</p> <p>■授業参加度(60%)、筆記試験(40%)</p> <p>前回授業の確認テストの解説を行う。 定期試験は最終講義で解説を行う。</p>
履修条件	
履修上の注意点	

授業内容

第1回	<p>①授業テーマ 法医学概論</p> <p>②授業概要 法医学と関連領域、法医鑑定、死因、死因の種類など、教員の実務を踏まえて講義します。</p> <p>③予習(60分) アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。</p> <p>④復習(60分) 不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。</p> <p>"</p>
第2回	<p>①授業テーマ 脳死と臓器移植法</p> <p>②授業概要 心臓死、脳死、植物状態、臓器移植法などについて、医療倫理の側面と実務面から考察し、教員の実務を踏まえて講義します。</p> <p>③予習(60分) アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。</p> <p>④復習(60分) 不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。</p>
第3回	<p>①授業テーマ 死体現象</p> <p>②授業概要 早期死体現象、晩期死体現象、死後経過時間の推定について、教員の実務を踏まえて講義します。</p> <p>③予習(60分) アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。</p> <p>④復習(60分) 不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。</p>
第4回	<p>①授業テーマ 創傷・頭部外傷</p> <p>②授業概要 創傷の種類と受傷機転、頭部外傷などを、教員の実務を踏まえて講義します。</p>

	<p>③予習(60分) アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。</p> <p>④復習(60分) 不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。</p>
第5回	<p>①授業テーマ 交通死亡事故</p> <p>②授業概要 交通関連法規、交通事故の現状、交通外傷の法医鑑定事例について、教員の実務を踏まえて講義します。</p> <p>③予習(60分) アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。</p> <p>④復習(60分) 不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。</p>
第6回	<p>①授業テーマ 窒息・溺水</p> <p>②授業概要 縊頸・絞頸・扼頸の違い、溺死、ふる溺について、教員の実務を踏まえて講義します。</p> <p>③予習(60分) アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。</p> <p>④復習(60分) 不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。</p>
第7回	<p>①授業テーマ 死因究明等推進基本法</p> <p>②授業概要 検視、検案、異状死体の届け出義務、死因究明等推進基本法についてなどについて教員の実務を踏まえて講義します。</p> <p>③予習(60分) アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。</p> <p>④復習(60分) 不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。</p>
第8回	<p>①授業テーマ 異常環境による死</p> <p>②授業概要 焼死、一酸化炭素中毒、広範囲熱傷、熱中症、凍死などについて、教員の実務を踏まえて講義します。</p> <p>③予習(60分) アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。</p> <p>④復習(60分) 不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。</p>
第9回	<p>①授業テーマ 飲酒関連死</p> <p>②授業概要 酩酊中の不慮の事故、アルコール代謝関連の遺伝子多型、慢性アルコール性臓器障害について、教員の実務を踏まえて講義します。</p> <p>③予習(60分) アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。</p> <p>④復習(60分) 不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。</p>
第10回	<p>①授業テーマ 法中毒学Ⅰ</p> <p>②授業概要 覚せい剤、大麻などの違法薬物、向精神薬・眠剤などの処方薬の大量摂取に関連する事故・中毒・自殺について、教員の実務を踏まえて講義します。</p> <p>③予習(60分) アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。</p> <p>④復習(60分) 不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。</p>
第11回	<p>①授業テーマ 法中毒学Ⅱ</p> <p>②授業概要 硫化水素・青酸・ヒ素・フグ毒など稀な毒物による事件・事故、沖縄トリカブト事件について、教員の実務を踏まえて講義します。</p>

	<p>③予習(60分) アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。</p> <p>④復習(60分) 不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。</p>
第12回	<p>①授業テーマ インテリジェンス概論</p> <p>②授業概要 日本大学医学部社会医学系法医学分野 客員研究員の山田敏弘氏をゲストスピーカーに迎え、インテリジェンスについて、教員の実務を踏まえて講義します。</p> <p>③予習(60分) アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。</p> <p>④復習(60分) 不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。</p>
第13回	<p>①授業テーマ アメリカの法医学</p> <p>②授業概要 銃、麻薬、人種差別など、アメリカ社会の問題の解説、および日本とアメリカとの死因究明の違いについて、教員の実務を踏まえて講義します。</p> <p>③予習(60分) アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。</p> <p>④復習(60分) 不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。</p>
第14回	<p>①授業テーマ 法医学テスト</p> <p>②授業概要 五選択肢択一20問、記述2問のテストを行います。(60分)</p> <p>③予習(60分) アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。</p> <p>④復習(60分) 不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。</p>
第15回	<p>①授業テーマ 法医学テストの解説</p> <p>②授業概要 法医学テストの解説を行います。</p> <p>③予習(60分) 不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。</p> <p>④復習(60分) 不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。</p>

関連科目	刑事司法手続Ⅰ (RMGT3421)、刑事司法手続Ⅱ (RMGT3422S)
------	--

教科書

参考書・参考URL	日本大学医学部社会医学系法医学分野ホームページ https://www.med.nihon-u.ac.jp/department/medicolegal/
連絡先・オフィスアワー	奥田貴久 okuda.takahisa@nihon-u.ac.jp 日本大学医学部社会医学系法医学分野 〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町30-1 TEL : 03-3972-8111 FAX : 03-3972-8860

研究比率

危機管理領域との対応

パブリックセキュリティ領域	60%
災害マネジメント領域	20%
情報セキュリティ領域	10%
グローバルセキュリティ領域	10%

危機管理と法学とのバランス

危機管理学	50%
法学	50%